



りんご箱

ケアセンター成瀬住民の会だより 第95号

2012年（平成24年）7月 発行：住民の会広報委員会 電話：729-0617 発行責任者 塚本 誠子



まもなく二〇年

事務局長 小竹 金次

ケアセンター成瀬は、地域密着型の特別養護老人ホームとして再スタートした。当会も新たな段階を迎え、ここで結成当初を振り返り、今後のあり方を考える。

当会は平成5年11月に結成、19年目になる。その原点は、結成当時、西嶋先生（現・創和会理

事長）が提唱した「地縁」により支え合う「多様な形でたくさんの方が参加できる、新しい相互扶助組織の仕組みをつくる」ことであった。

当時、高齢社会の新しい生き方を説いた「老後のわかれ道」（中島れい著）には、結語として「私たちは、私たち世代の持つ力を日本風土の中で結集し、私たちの手で新しい進化史の一段階である、一つの文化環境をつくりだす必要に迫られている」と述べられていた。

この20年、急速にすすむ高齢化社会は社会の仕組み（平成10年NPO法・平成12年介護保険法施行）を激変した。

当会の活動はそれらに翻弄されながらも激変に耐え、新制度を活用しながら実践し、今日に至つ



ている。そのことは当会に組織された英知の成果というべきであろう。ケアセンター成瀬の再スタートにあたり、NPOアップルサービスの全面協力も得て、五百万円寄贈できたことにより、それは実証された。

【住民の会・（社福）創和会・NPOアップルサービス】この密なる相互協力関係は、当初目的の一つである「新しい相互扶助組織」の一つのモデル形態と考えられる。

今年度の通常総会では「今後もこの三者の協力関係を更に発展させる」ことを再確認した。

『第36回なるせだいまつり』で
住民の会のお店が出ます!!!

7月28日（土）29日（日）
両日共に午後4時より販売開始！

ソフトクリーム、玉こんにゃく、赤飯、
焼きそば、麦茶、ジュース、ビールなど、
お楽しみに！！

目次

*まもなく二〇年

… P 1

*平成24年度住民の会
通常総会報告

… P 2

*ダンケムジークの会
第47回コンサート

… P 3

*創和会より
*その他 お知らせ

… P 4

平成24年度住民の会通常総会報告

4月24日(日)、住民の会通常総会が、改装されたケアセンター成瀬の地階デイサービスフロアで開催された。出席者は31名、永井まちさんの司会で始まった。

でグルメンティに変更したこと、さらに会が従来使用していた成瀬台中の使用を中止したことなどの説明があり、承認

第2号議案

会計担当の大竹重昭さんから平成23年度の会計報告

創和会への寄付の扱いに苦慮した旨説明があった。拍手で承認

第3号議案

平成23年度会計監査報告

監事・高綱美智子さんから会計帳簿など適正に処理されていたことが説明され、承認

第4号議案

平成24年度役員の内を佐藤康夫さんが提案

選考委員会(委員7名)を3回開催し、検討決定した旨説明。拍手で承認



第5号議案

平成24年度活動方針(案) 佐藤康夫副会長が説明

地道に地域に根を下ろした活動を行いたいとの発言があった。承認

第6号議案

平成24年度会計予算(案) 会計担当の大竹重昭さんが説明

常駐費・備品費レジスタの購入、予算の繰越と予備費の扱いについての質疑が行われた。承認

その後、その他の一般質疑があった。

(質)「住民の会」会員の地域的エリアがあるのか

(答) 地域は特定していない
(質) 「住民の会」会員のメリットは何か

(答) 会員は「住民の会」のサポーターである
当初は親の問題で入った人も、現在は自分の老後をより良いものにしたかと思いい、続いているのではないか。年会費は何かと問われると、それは老後を過ごすための情報料と考えしてほしい

(答) 非会員で直接「創和会」に來られボランティアをされている方もいる
(質) 現在の「住民の会」の会員数は?
(答) 現在650人の方が会費を納入されている。転出したり、亡くなったり、メリットがないからと脱会される方もいるが、草とりや生活の雑事に困り、NPOアップルサービスをを通じて、新たに入会される方もおられる

平成24年度 役員名

| | | |
|-------------|-------------|-----|
| 子夫子次昭子 | 朋次子夫 | 子 |
| 誠康聡金重節一 | 厚一金誠康 | 美智子 |
| 本藤達竹竹中林綱嶋 | 林竹本藤 | 美智子 |
| 塚佐安小大野小高西 | 原小小塚佐 | 美智子 |
| 創和会理事長 | 創和会理事長 | 美智子 |
| NPOアップルサービス | NPOアップルサービス | 美智子 |
| 地域ケア委員長 | 地域ケア委員長 | 美智子 |
| 研修委員長 | 研修委員長 | 美智子 |
| 広報委員長 | 広報委員長 | 美智子 |
| 行事委員長 | 行事委員長 | 美智子 |
| ボランティア代表 | ボランティア代表 | 美智子 |

ダンケムジークの会 ♪♪

再開&再会コンサート

7月8日
日曜日

7月8日(日)の午後、ケアセンター成瀬地階デイサービスフロアで第47回ダンケムジークコンサートが開かれた。

朝から降ったり止んだり
の梅雨空が続いたが、新し
くなったフロアは午後2時
の開場時には120名を超す
お客様で満員になった。

ケアセンター改修工事完
了を待って開催された「再
開&再会コンサート」は約
一年ぶりの音楽の集いを喜
ぶお祝いムードに包まれな
がら、ピアノ連弾によるヨ
ハン・シュトラウスの「ラ
デッキー行進曲」で演奏の
幕を開けた。

お客様
の手拍子
も加わっ
て会場は
いきなり
熱気に包
まれる。



ハーモニカ、アルト・リ
コーダー、ギター、シヤン
ソン・・・と第一部はバラ
エティー豊かな演奏が続ぎ、
ダンケムジーク会員の層の
厚さが感じられた。



第一部の最後は男声グル
ープ「G6」によるコーラ
ス。谷川俊太郎作詞「サッ
カーによせて」を若さと希
望にあふれるハーモニで
歌い上げた。



第二部は「この星で出会
つて」のサブタイトルのも
と、太陽、月、星、銀河、
雨、虹など空にちなんだ曲
が次々披露され、金環日食
など珍しい天体現象の続く
年に相応しい内容となった。



次回コンサートのお知らせ



第48回コンサートはヴァイオリ
ニスト 江島有希子さんをお迎
えて今年10月に開催いたします。

詳しくは後日、ポスター・自治会
回覧、住民の会広報「りんご箱」等
でご案内します。

お楽しみに!!!

女声トリオ
サンバイズ
のコーラスに
続くファイナ
レではダンケ
ムジーク合唱
団が息の合った
歌声を響かせ、
会場のお客様
も一緒に歌う
大合唱へと
続きコンサ
ートは和やか
に幕を閉
じた。



キルトのベッドカバー
 ありがとうございます！

16年前、ケアセンター成瀬開設時に手作りキルトのベッドカバー12枚を「暖家の会」有志の皆さんに寄付していただきました。
 ショートステイでは、この心のこもったキルトカバーをベッドに掛けて入所される方々をお迎えしてきました。



しかしショートステイの閉所により、ケアセンター成瀬の宝物として長年に亘り愛用されてきたベッドカバーはその役割を終え、現在12枚のうちの9枚が倉庫に保管されています。
 つきましては、この9枚のベッドカバーを、作ってくださった方々の元にお返しすることにしました。
 返却をご希望の方は
 創和会
 042-720-2202
 住民の会
 042-729-0617
 まで、ご連絡ください
 ようお願いいたします。

(創和会)

「ぶどうの会」
 ボランティア
 メンバー募集！



「ぶどうの会」は介護現場で活動するボランティアグループです。現在、デイサービスで、朝のお茶出しや午後の趣味活動、くもん学習療法など 30 数名の方々が活動していますが、このたび、地域密着型特養ホーム開設に伴い、より多くの皆さんにボランティアのご協力をお願いするようになりました。

時間は午前または午後の2～3時間程度。月に1回でも2回でも結構です。活動内容は見守り、お話し相手、ちょっとした雑用などです。

会員の皆さんのほんの少しの時間とお力をお貸しいただけると有難いです。よろしくをお願いいたします。

お問い合わせ・連絡先

住民の会 042-729-0617
 創和会 042-720-2202

会費納入のお願い

平成24年度会費未納の方は
 下記の方法で納入をお願いします

- 1 住民の会事務局窓口
 (下記時間帯 受付)
- 2 郵便振込
 記号：00120-7-725131
 名義：ケアセンター成瀬住民の会
 ※ご一報くだされば集金に伺います。

← ケアセンター成瀬住民の会事務局
 (ゆりの木会館側からお入り下さい) →

住所 町田市成瀬台3-24-1
 電話・Fax 042-729-0617
 ホームページアドレス

<http://ccnjk.com>

受付時間 月曜日～土曜日
 10:00～16:30
 (日曜日・祝日は休み)

これからの催し物 (予定)

- ★なるせだいまつり
 7/28、29
 NPOアップルサービスと共に出店
- ★きらく会
 8/25 ゆりの木会館
 手話ダンス
 8/24 ゆりの木会館
- ★資源回収 (毎月第4月曜日)
 7/23、8/27
 (アルミ缶も回収しています)

編集後記

うっとうしい梅雨空にも係わらず、ケアセンターも住民の会も一新し、それぞれ颯爽と業務に励んでいる。広報委員会一同も颯爽と、と言いたいところだが、現実には厳しい。つれあい、父母の介護者となり、満点の答など求めようがない問題で、皆、頭を悩ませている。それでも何とか帳尻を合わせ、やっと集って95号の発行となった。こんな広報委員会を助けてくれる新しい風を求めます。是非仲間になつて、編集の楽しさを味わいませるか？あなたの力をお待ちしています。(ふ)